

平成 17 年 10 月 5 日 話し合いメモ

A 班 教育・文化

- ・ 3 つある無形文化財（天宮神社、小国神社、山名神社）の継承（きっちりと伝えることが大切）
- ・ 図書館の閉館時間延長（現状は平日午後 5 時まで）
- ・ 地域の大人が先生になり、子どもへ教える。
- ・ 高齢者と子どもの交流 → 高齢者が病気にならない → 老人医療費の減少
子どもの教育になる
- ・ 小国神社に来る観光客が多い。→ アクティ森・戦国夢街道などの場所・駐車場をよく聞かれる。
観光マップや看板等で P R（お知らせ）できないか。
- ・ 学習の情報提供（多くの人に知ってもらうにはどうすれば良いか）
- ・ “まちづくり、がんばらないけど、あきらめない”（じっくりと着実に前へ進む）
- ・ 学校の統廃合は、単に統合するのではなく、どのように人を育てていくのか、どのような個性を持たせるとか、町や子供たちの将来を見据えて統廃合をしてもらいたい。（腹を括れ！）

B 班 産業・経済

官と民が一緒になって企画運営する

産業企画管理センター

- ・ 産業企画管理センターをつくる（企業局的なところ）企画、運営、収入を行う。
- ・ 産業誘致活性化のためには、まとまった企画、実施、運営プロジェクトチームが必要。

企業誘致 + 第二東名を生かす → 雇用創出

- ・ 民間企業の誘致（雇用と税収の確保、そのための条件整備に努める）
- ・ 工業の振興 第二東名を有効に活用した企業の誘致（誘致の条件を検討する）
- ・ 産業 第二東名完成時が不明確 工業団地の造成不安

農業の振興

情報

- ・ 外への発信が不足。必要ないのか。

土地大規模化

- ・ 農業の振興 平野部 - 大規模化 - 企業参加 山間部 - 観光農園化 消費 - 株主化

森町ブランド化 → 人材育成 → 学校 → 就農を森町へ

- ・ 産業について（資本）森町の財産を考えると農業が挙げられる。他地域に負けないポテンシャルがあると思う。

- ・従って、農産物における森町ブランドを強化する。これには先ず人材育成から始める必要があり農業大学の設立などを図り、農業を目指す若者を集める。
- ・そして、大学を卒業する頃には、森町に就農できるような後押しをして、新規就農者を増やす。そして、品質を良くし生産量を増やす。
- ・農産物の生産と販売

観光の振興

食事 交通（あし） 宿泊が森町に不足している。

- ・観光で欠けるところ（食べるところがない。足（交通）がない。泊まるところがない）
- ・観光 - 泊まるところナシ - 食べるところナシ - 足（交通）ナシ
- ・観光（売上の上がる観光 宿泊、食事、交通の整備）

歴史まちなみ

- ・歴史の街並みをつくる（旧家買い取りで）

古風な商店街

- ・古風な商店街をつくる（テナント形式で）

懐かしむ

- ・懐かしの村をつくる（ビオトープを考慮して）

1社1目玉づくり

- ・1社1目玉づくりの推進（各地区参加にて）

アクティ森周辺滞在型へ

- ・アクティ森付近を大きな観光拠点とする。滞在型、宿泊型キャンプ場。

温泉街

- ・温泉の宿街をつくる。

エコミュージアム

- ・観光 三倉、天方地区のエコミュージアム化（特区申請する）

人材誘致

- ・世界の人々が訪れてくれる。人材の誘致。

ボランティア

- ・協働ボランティア - 同報無線による呼びかけ

サザンカ荘の再建

林業

治山治水→広葉樹

- ・林業の振興 治山、治水機能と広葉樹化をすすめる。

大学・研究機構と連携

- ・林業の振興 大学、研究機構との連携をして、自然の保全化をすすめる。（又、各地、フォレストセンターとの連携）

C班 自然・環境

自然環境保全

太田川のゴミ問題

- ・小中学生の作文でもゴミの投げ捨てが多いとの話が多数あった。
- ・太田川のことが多い→キャンプ、バーベキューでゴミ放置が多い。
- ・太田川→バーベキューの後のゴミ。
- ・バーベキュー後のゴミ放置減少しているが、一部。
- ・昔は堤防の草刈りをして→肥料に使用していたので、環境や景観が守られた。今はしない。

森林の管理保全

- ・町のイメージ（外部）森多い。里山、森林の保全大切。山を切るにしても全部切るのではなく考えて取組む。そうしないと下草が多く荒地になるし、後の手入れが大変。
- ・利便性と自然、難しいが間伐材の活用。放置すると風水害の発生。循環型社会。
- ・自然と人との接点→自然と触れ合い
- ・桜トンネルきれい+きれいな水を流すなどすれば人が来る。
- ・自然破壊と自然共存開発との差が子ども達にはわからない。→P R 必要。
- ・森林保全 20ヶ所 県が税金化（森林税）→4000万/ヶ所

↓

水源の保全活用に使用

組合に任せるだけでなく、町に働きかける事が大切

↑

- ・お茶の木の荒地化→再生する。
- ・森林体験教育（全国にP R）→地元の人受け入れが重要

ゴミ

- ・生ゴミ燃やすのではなく、肥料にして循環型に活用。生ゴミ→発熱、リサイクル。

地下水、水の保全

- ・水も決して良い水ではない。農薬などが入ってくる→下水道を早く
- ・水の源→山の植林（落葉樹）持ち主と話し合っ。落葉樹は自然な形。
- ・水をきれいにするため、下水道・合併処理浄化槽。
- ・おいしい水百選の場所の保全→自然（曲尾の清水）

部門名

教育・文化

参加者名

A班

小倉豊寿 小澤雅美 倉嶋要介 高柳博史

野口雅人 花嶋政美 山田正光

DATE. 2005 / 10 / 5 No.1

主旨

まちづくりの柱、方針 (基本項目、主題)	実現のための具体的な取り組み施策、事業、プロジェクト (こんなことに取り組んでいきたい)	誰が主体			いつごろまでに			
		行政	住民	企業	短期	中期	長期	超長期
1. 生涯学習・社会教育	学習内容の充実							
	・コミュニティ広場等の活動として昔の遊びを子ども達に教える							
	・各分野における体験学習の促進(年齢別)(例えば、福祉面とか・・・)							
	・学習機会のアピール							
	・多様な学習機会の提供(広報もりでは出ているが・・・)							
	・寺子屋(既存建物)で(幼稚園)学校教育以外の事を教える。							
	・教育→倫理教育、人格の陶冶→ボランティアの育成、施設の柔軟性							
	連携							
	・建物(ハード)は新たにつくらずネットワーク(ソフト)を支援する方向で。							
	・他地域との交流							
	人材育成							
	・高校生の活躍する場							
	・草刈り作業をシルバーボランティアで。							
	学習支援							
	・放課後、長期休暇、ニートの支援。養育の受け皿。							
	図書館の利用時間の延長(休館日の減少)							
	ボランティアの方々を積極登用							
	地域活動の場所の充実							
	■図書館活動の推進							
	■学習活動の場の充実							

記入例: 誰が主体/主な主体に。 2以上の場合はメインに

いつごろまでに/短期: 3年以内 中期: 5年以内 長期10年以内 超長期10年以上

まちづくりの柱、方針 (基本項目、主題)	実現のための具体的な取り組み施策、事業、プロジェクト (こんなことに取り組んでいきたい)	誰が主体			いつごろまでに			
		住民	企業	行政	短期	中期	長期	超長期
	施設の共有							
	公民館の活用性							
2. 青少年健全育成	・ 青少年の育成事業							
3. 幼児教育	地域で子育て							
	・ 幼稚園での地域交流							
	・ 共育（大人と子ども共に）							
	・ 子どもの姿を近くで見ているだけで老人の罹病率が下がる→触れ合いの場をつくる（老人、子ども）→老人医療の抑制							
	保育園の充実							
	・ 保育園の充実→住みたくなる街・町にするには幼稚園より保育園を充実させるべきではないか。							
	・ 子育て、少子化、保育の時間の延期ができる施設							
	心と体と健康教育の推進							
	男女共同参画							
	・ 子育て、少子化、男の人の参加							
4. 家庭・地域教育の充実	教育の見直し							
	・ 教育体系の見直し→森町（山田）方式。学校は地域の誇り							
	学校、家庭、地域の協力							
	・ 学校と地域→地域の大人が先生となり教える							
	・ 子どもの顔を見れば名前がわかる地域環境							

記入例： 誰が主体 / 主な主体に○ 2 以上の場合はメインに

いつごろまでに / 短期：3 年以内 中期：5 年以内 長期10年以内 超長期10年以上

まちづくりの柱、方針 (基本項目、主題)	実現のための具体的な取り組み施策、事業、プロジェクト (こんなことに取り組んでいきたい)	誰が主体			いつごろまでに			
		住民	企業	行政	短期	中期	長期	超長期
	家庭教育、親教育							
	・家庭、地域における子育て（声かけ、ほめる、叱る）促進							
	・子ども達の教育とともに親の教育を（子どもの教育には家庭が一番）							
	・大人と子どもとのつながり							
	働く親の子育て支援							
	・働きたい親が子どもを預けやすい環境							
	特色のある学校づくり							
	・特殊教育の推進							
	・実業、普通学科の得意性のある高校とする。							
5．学校教育	・弁護士学校等を誘致							
	森町の未来は子ども達が考え作り上げていく→何よりも先ず教育に力を入れる							
	幼・小・中の連携							
	学校の統廃校（幼・中・高）（例えば、泉陽中を森中学校に、森高を周智高校に統合）							
	空教室の利用（森町独自）							
	教職員の資質向上							
	・先生の教育							
	伝統文化の継承、情報発信、活用。							
	町民文化活動の振興							
6．文化の創造と継承	・森町の文化財（有形・無形）の継承。特に無形文化財の継承は難しい。							

記入例： 誰が主体 / 主な主体に○ 2 以上の場合はメインに

いつごろまでに / 短期：3 年以内 中期：5 年以内 長期10年以内 超長期10年以上

まちづくりの柱、方針 (基本項目、主題)	実現のための具体的な取り組み施策、事業、プロジェクト (こんなことに取り組んでいきたい)	誰が主体			いつごろまでに			
		住民	企業	行政	短期	中期	長期	超長期
	・町にある100年以上の歴史がある色々な祭りの伝統継承に力を入れる。 →高齢者の力をお借りする。							
	・常夜灯を利用して(常夜灯のある町)アピールしていく。各地区にある常夜灯をきれいにし明かりをつける。							
	・小国神社を巻き込んで何かできないか。(例えば、前にあった浅野温子さんの一人語りとか。お香の会とか。)							
7. スポーツ	スポーツ、レクリエーションに参加する機会の充実							
	・森町スポーツ大会							
	・スポーツ少年団等の要望を聞く							
	スポーツをまちづくりに生かす							
	スポーツ、レクリエーションの指導、支援体制の充実							
	体育館、グラウンドの無料開放							
	太田川河川敷、親水公園の活用法							
8. 国際交流	国際交流、協力活動の推進							
	海外から来る研修生の受け入れ							
その他	“まちづくり、がんばらないけど、あきらめない”							

記入例： 誰が主体 / 主な主体に。 2 以上の場合はメインに

いつごろまでに / 短期：3 年以内 中期：5 年以内 長期10年以内 超長期10年以上

部門名

産業・経済

主頁

参加者名

B 班	
-----	--

林昭光 小平史伸 齋木薰

二藤勲 山日光宏

DATE. 2005 / 10 / 5 No.1

[illegible]

記入例： 誰が主体 / 主な主体に。 2 以上の場合はメインに

いつごろまでに / 短期：3年以内 中期：5年以内 長期10年以内 超長期10年以上

まちづくりの柱、方針 (基本項目、主題)	実現のための具体的な取り組み施策、事業、プロジェクト (こんなことに取り組んでいきたい)	誰が主体			いつごろまでに			
		住民	企業	行政	短期	中期	長期	超長期
(3) 農業の振興	高付加価値的な農業							
生産的な農業ではなく	体験的農業(作業、宿泊)→教育者の育成							
	↓							
	企業的な農業							
生産的農業として	広大な農地の保全							
	森町のブランド化(究極のコシヒカリ)→もっと外への情報発信							
(4) 企業誘致	第二東名を生かす							
	雇用と税収の確保							
	人材誘致(人が森町に人を呼ぶような魅力のある人が居住する)							
(5) 林業振興	治山、治水のための広葉樹植栽							
	大学、研究機関との連携による自然の保全化							

記入例: 誰が主体/主な主体に○ 2以上の場合はメインに

いつごろまでに/短期:3年以内 中期:5年以内 長期:10年以内 超長期:10年以上

部門名

自然・環境

主旨

参加者名

C 班

岩田春喜 大場たつ子 辻克美

守谷康弘 山本玲子

DATE. 2005 / 10 / 5 No.1

まちづくりの柱、方針 (基本項目、主題)	実現のための具体的な取り組み施策、事業、プロジェクト (こんなことに取り組んでいきたい)	誰が主体			いつごろまでに			
		行政	住民	企業	短期	中期	長期	超長期
森林の保全活用	・ 水源周辺の森の保全・管理	○		○	○			
	・ 森林税の活用			組合 ○	○			
	・ 町民総出で地域の里山保全			○		○		
	・ 針葉樹から広葉樹の森へ		○	○			○	
	・ 森林体験学習→町外の人への参加呼びかけ			○	○			
	・ 町民が森、水の大切さを知る。	○			○			
	・ 荒れた茶畑→森林へ再生する。	○	→	農家 ○		○		
	・ 間伐材を「経木（へギ）」に活用できないか。					○		
太田川の保全	・ 町民全体で太田川のゴミ拾いの日を決める。	協力	←	○	○			
	川の草刈り日と統一するなど（みんなで取り組む）	協力	←	○	○			
	・ バーベキュー、キャンプの人たちにゴミを捨てないよう P R	○			○			
	地元の人が見本を示す（河をきれいにする活動）				○			
	監視人を増やす（町民全員に腕章を持たせる）		○			○		
ゴミ	・ 生ゴミ処理→リサイクル。住民協力。			○			○	
生活環境の保全	・ 森の商店で売るのは「経木（へギ）」を使う。		商店		○			
下水道	・ 計画時期を明確に。				○			
	・ 加入しない人をどうするか（下水道区域）						○	

記入例： 誰が主体 / 主な主体に○ 2 以上の場合はメインに

いつごろまでに / 短期：3 年以内 中期：5 年以内 長期10年以内 超長期10年以上